

2015年3月

鹿児島駅周辺施設活用推進ワークショップ活動ニュース Vol.4

《編集・発行》鹿児島駅周辺施設活用推進ワークショップ事務局
(鹿児島市市街地まちづくり推進課 TEL 099-216-1388)

第4回ワークショップを開催しました!!

平成27年2月12日(木)アーバンポートホテルにて、『第4回鹿児島駅周辺施設活用推進ワークショップ』を開催しました。

●会次第

- 1 開会
- 2 事務局説明
- 3 グループ作業
【テーマ】活用推進方策・運用ルール(素案)を考えよう!
- 4 グループ発表・まとめ
- 5 閉会



今回

第4回 2月12日

活用推進方策・運用ルール(素案)を考えよう

(討議内容)
・活用推進方策(素案)のブラッシュアップ
・運用ルール(たたき台)提示と追加提案

第1回 8月27日

イベント広場の今とこれからを考えよう

(討議内容)
・地域資源を踏まえた施設像、利活用アイデアの提案
⇒こんな広場であって欲しい

第2回 10月28日

イベント広場で行うイベントを考えよう

(討議内容)
・将来の目玉となるプロジェクト(イベント)提案
※イベント時(非日常時、特定利用時)の利活用方策

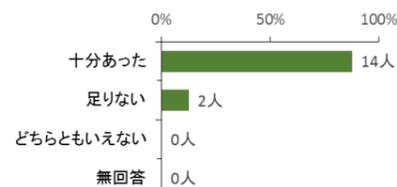
第3回 12月17日

運用ルールを考えよう

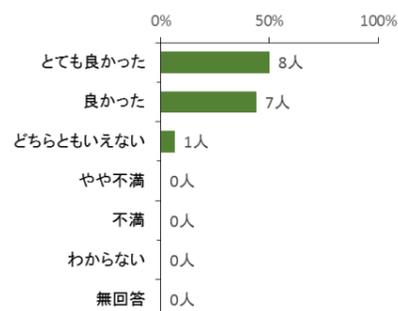
(討議内容)
・活用推進方策(たたき台)提示と追加提案
・運用ルールの検討(利用時間帯、場所、予約方法、料金、広報、利用マナーなど)

●当日の参加者アンケート結果

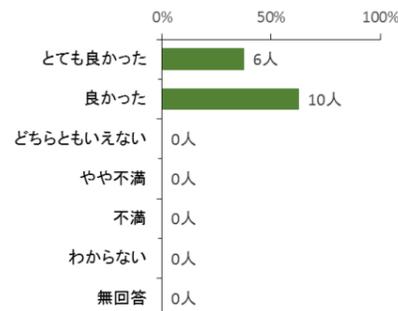
発言の機会



今回のワークショップについて



今年度のワークショップについて



●当日の様子

3班に分かれ、活用推進方策・運用ルールについてこれまでの意見を確認し、追加・補足しました。

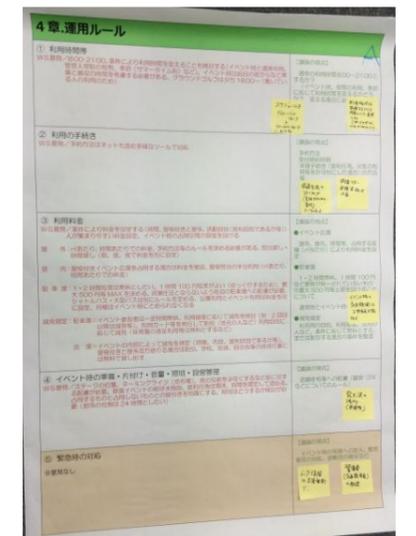
グループ作業の流れ

① これまで話し合った利活用方策を確認し補足しよう!

はじめに、前回までに話し合った利活用アイデアを振り返りました。これまでのWS・分科会意見について、場所別(屋内、屋外等)に整理した内容を確認し、不足している意見があれば、追加しました。



<できあがった成果>(A班の例)



② 運用ルールおよび

今後の課題について話し合おう!

これまでの運用ルールについてのWS・分科会意見を項目別に整理した内容を確認しながら、意見が少ない項目を中心に話し合いました。

また、地域活性化のためのイベント広場の利活用方策の実現において、今後の課題となるものは何か考え、意見を出し合いました。



③ 発表者が全員の前で発表します!

発表者を決め、意見交換の内容を全員の前で発表し、お互いの班の意見を確認しました。



アンケートの主な自由回答

- 自分たちの住む地域に、必要な広場でできる事を楽しみにしている。
- 参加者から多くの意見が出て、それぞれのアイデアがどうかされどのような広場になるのが今後は楽しみ。
- 最初はイメージが漠然としていたが、徐々に意見がまとまってきたと思う。「市民のひろば」などで進捗を知らせてはどうか。
- 色々な意見を世代や職業を越えて聞くことができ、とても楽しく勉強になった。
- 徐々に具体的になってきて今後は楽しみ。
- 自分たちでつくる公園が少しずつ現実的になった気がする。課題はあるが、住民全体の公園となることを期待している。
- 具体案(例)が欲しい。ほんやりしすぎて大まかにしか発言できないのがどうかと感じた。
- 大きく変わっていくところをきちんと見たい。
- 運用ルールづくりでは使用する側の意見だけではなく音や治安の問題など地域住民への影響も考慮して決めるべき。
- 次年度はワークショップのメンバーとして近くの商店会、通り会、町内会、JR九州、市の公園緑化課等からも参加すべき。

●当日の成果 ～活用推進方策・運用ルール(素案)を考えよう!～

項目	前回までに出た意見	A 班	B+D 班	C 班
活用推進方策について				
	<p>鹿児島県の「食」など地域資源を活かしたイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食のイベント、屋台村、食材にちなんだバトル等 <p>多様な物産に出会い賑わうイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・即売会、物産展、青空市場、フリーマーケット、焼酎フェス等 <p>溶岩や灰、上町・磯の歴史資源、文化を活かした体験交流イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎、歴史イベント、歴史上の人物のコスプレ、伝統工芸体験、溶岩や火山灰を使ったイベント、灯ろうをともすイベント（甲突川のタペのような）、流鏝馬、甲冑バトル 等 <p>盆踊り、夏祭り、町内会行事への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り、ビアガーデン、アートイベント、商店街活性化イベント、ドッグコンテスト、校区内運動会、ジョギング大会等 <p>世代間交流を育むイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚式ができるような施設、キャラクターショー、美容イベント、花壇づくり等 <p>軽スポーツ、レクリエーションを楽しむ活動イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポーツ大会（グランドゴルフ）、健康セミナー <p>誰もがくつろげる空間提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・お年寄りのがのんびり、休憩、飲食の移動販売、ドッグラン、家族でお弁当を食べる、歴史を紹介・学習出来るスペース（修学旅行等）、幼児から児童まで楽しめる遊具、ペットイベント等 <p>軽スポーツ、レクリエーションを楽しむ活動イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポーツ大会（フットサル、ゲートボール等）、子どもたちのスポーツ大会（相撲、ミニバスケット等）、 <p>まちなか回遊の起点となるイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝探し、JRイベント、スタンプラリー等 <p>盆踊り、夏祭り、町内会行事への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェスティバル・コンサート、カラオケ大会、浴衣ファッションショー、ダンス大会、和装での踊り 等 <p>世代間交流を育むイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の発表会（吹奏楽、合唱）等 	<p><屋根付きイベント広場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・綱引き ・長縄 <p><屋外イベント広場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区対抗の運動会（合同のイベントも） ・都市の杜の樹木を活かした自然体験イベント（カブトムシ取りやどんぐりを拾い材料とする講座など） ・防災イベント（病院にアクセスしやすい地域なのでドクターヘリの訓練や消防訓練のイベント等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通したテーマを持つ ・伝統芸能など地域の資源の掘り起こし ・単発ではなく継続的なイベントを行う為に、町内会の行事の拠点としたり、必ずここでするイベントや必ず参加するしくみづくりが不可欠 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車が乗れるようになるイベント（子供たち）
運用ルールについて				
① 利用時間帯	<ul style="list-style-type: none"> ・8:00-21:00 ・条件により利用時間を変えることも検討する（イベント時と通常利用、管理人常駐の有無、季節（サマータイム制）等） ・イベント時は前日の夜からなど準備と撤収の時間を考慮する必要がある ・グラウンドゴルフは夕方 18:00～（働いている人の利用の為） 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な利用時間の設定（ビアガーデンが 21:00 終了では無理） ・スケジュールを地元優先の週とそうでない週に分ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の利用時間は 8:00-21:00 ・夏期は 22:00 まで利用できるサマータイム制の導入 ・イベント時は準備と撤収の時間を考慮し別途定める ・夜間の利用は用途に応じて検討の必要がある 	-
② 利用の手続き	<ul style="list-style-type: none"> ・予約方法はネットも含め多様なツールで対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・申請手続きのフォローアップ、コーディネートできるコンシェルジュ（実施する為の案内）が必要 ・申請フロー、申請書類の明確化 ・窓口はできるだけ一元化 	<ul style="list-style-type: none"> ・予約方法はネット等いろいろな方法を検討 ・受付開始時期は内容によって変える（土日祝のイベントは早め等） ・先着順または一定期間の受付で抽選の方法が考えられるが、地元の行事は優先としたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元、町内会、通り会、学校、地元団体等を優先 ・同じ団体が連続して使用する場合は制限（上限）をつける ・入場料金が無いものは地元優先
③ 利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ・条件により料金を設定する（時間、屋根付きと屋外、活動目的（営利目的であるか等）） ・人が集まりやすい料金設定、イベント時占有空間の限度を設ける <p>屋 外：㎡あたり、時間あたりでの料金、予約方法等のルールを決める必要がある、部分貸し・時間貸し（朝、昼、夜で料金を別に設定）</p> <p>屋 内：屋根付きイベント広場を占有する場合は料金を徴収、屋根部分の半分利用（㎡あたり、時間あたりでの料金）</p> <p>駐 車 場：1・2 時間程度は無料、1 時間 100 円程度がよい（ゆっくりする為）、最大 500 円等 MAX を決める、民業圧迫とならないよう周辺の駐車場への配慮が必要、大型バスは別にルールを定める、公園利用とイベント利用は料金を別に設定、月極はイベント時に停められなくなる</p> <p>減免規定：駐車場＝イベント参加者は一定時間無料、利用頻度に応じて減免を検討（例：2 回目以降は減免等）、利用カード等を発行して割引（地元の人等）利用目的に応じて減免（保育園の遠足利用は無料とする等）</p> <p>会 場＝イベントの内容によって減免を規定（規模、内容、営利目的であるか等）、屋根付きと屋外向方借りる場合は割引、学校、地域、自治会等の地域行事には無料で貸し出す</p>	<p>【駐車場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント時は基本的に公共交通機関を使う 	<p>【イベント広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外、屋内で料金を分ける ・屋外は分割した単位で料金を設定（4 分割等） <p>【駐車場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 時間目は安く利用できるようにする（料金は要検討） ・無料にはしない ・駅が近いので公共交通機関を利用したパーク＆ライドを促す <p>【減免規定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんらかの規定は必要 <p>（目的、利用頻度、地元の人などの条件に応じた減免規定を整理する）</p>	-

④ イベント時の準備・片付け・音量・照明・設営管理	<ul style="list-style-type: none"> 音の反射を少なくする等音に対する配慮が必要 飲食イベントの給排水施設 占用するものと占用しないものとの線引きを明確にする、 照明はどうか検討が必要（都市の杜側は24時間としたい） 	<ul style="list-style-type: none"> 騒音やゴミ等の発生源の場所（事前の申請時に明確にしておく必要あり） 	<ul style="list-style-type: none"> 照明やステージ位置、飲食イベントの給排水施設等はイベントを行う上では調整が必要 近隣住宅等への騒音やゴミなどのルールをきちんと決めるべき 	-
⑤ 緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> 意見なし 	<ul style="list-style-type: none"> レク保険は主催者側で加入するのが基本 イベント時には警備員（交通誘導員）の配置が必要 	<ul style="list-style-type: none"> イベント時の保険への加入は主催者側の任意 緊急車両の進入路や避難路の確保等はルールを決め、指導する 災害時避難場所としての機能を持たせたい 	<ul style="list-style-type: none"> 保険は義務付ける（届出義務） 警察、消防との連携が必要 事業計画のようなものを提出してもらう
⑥ 行為の制限・禁止	<p>【車両の乗入れ・自転車利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則禁止（イベント時は許可制） 芝生部分は不可（芝生をいためない利用） 暴走族対応で車止めは必須 禁止部分とそれ以外を看板等で明記 ルールを守って利用する事を子供達に教える場所とする 幼児の自転車練習や三輪車は可 <p>【ごみ処理・タバコ】</p> <ul style="list-style-type: none"> タバコ原則禁止（場所を決めて可） ゴミは持ち帰りイベント時は主催者がゴミ箱を設置し責任を持って処分 分別のゴミ箱はあったほうがよい イベント時と通常利用時の運用規定をしっかりと決め明確にする <p>【火気の使用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常利用時は原則禁止（イベント時は許可制。夏の花火などは時間帯を制限する等ルール、エリアを決めて利用可としたい） <p>【ペット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ペットに対するルールは必要 飼い主のモラルが原則 ペット禁止はやりすぎ 一般的なルール・マナーを守って利用（リードをつける、ふんは飼い主が始末する等） 罰金制の検討 <p>【規制行為（営利活動、飲食物販、勧誘等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見なし <p>【行為のすみわけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ローラースケート、スケートボードは危険（エリアを分ける） 	<p>【車両の乗入れ・自転車利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 芝生以外での自転車練習はOK <p>【ごみ処理・タバコ】</p> <ul style="list-style-type: none"> タバコは限定した場所（コーナー）で可とする（ポイ捨てが増える） <p>【火気の使用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常時の火の使用は禁止／イベント時のみ火気使用の条件・ルールを決める（消防局とも調整） <p>【規制行為（営利活動、飲食物販、勧誘等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 営利行為の内容については事例を調べて検討・調整するのが課題 一定の運用指針をつくる <p>【行為のすみわけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ローラースケート、スケートボードは原則禁止 	<p>【車両の乗入れ・自転車利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 芝生以外での自転車練習や三輪車は可 <p>【ごみ処理・タバコ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミは原則持ち帰り、イベント時は主催者側の責任で処分 タバコは原則禁止、場所を決めて可 <p>【火気の使用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則禁止（イベント時は許可制、夏の花火は時間を決める等ルールを決めて許可） <p>【規制行為（営利活動、飲食物販、勧誘等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般的な公園のルールに倣って検討する <p>【ペット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般的なルール・マナーを守って利用可（リードをつける、ふんは飼い主が始末する等） <p>【行為のすみわけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ローラースケート、スケートボードは原則禁止 駐車場の一部等にスペースをつくって許可制で利用できるようにしてはどうか（管理の為施設と防犯カメラの設備が必要） 	<p>【車両の乗入れ・自転車利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車練習は小学生までに限り可とする <p>【火気の使用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間帯、または季節でルールを設定 <p>【ペット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ドッグランのようにリードをつけなくて利用するのは不可とするか検討してはどうか。 <p>【規制行為（営利活動、飲食物販、勧誘等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 届出制とし審議する必要がある（過去1～2年の実績を考慮）
⑦ 管理体制	<ul style="list-style-type: none"> エリア毎の管理の為、管理人が必要 防犯カメラがあったほうがよい（死角が多い） 	<ul style="list-style-type: none"> 管理人はコンシェルジュ的な役割として、あって欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> 管理人は配置すべき 防犯カメラの設置が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯の為にも公園の通常の利用時間内は管理人が必要 セキュリティ会社に委託するなどの方法もある 防犯カメラを設置する

今後の課題

① 地元主体のイベント実施のための人づくり・組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> 他の運営団体との協力、組織的な協力が必要 商店街・学校関係者に分科会参加を要請 分科会開催を増やす 自分たちで事例収集や分析をする 自らやるという意識、自己変革 	<ul style="list-style-type: none"> 公園の応援団・ファンクラブをつくる（「公園の後援会」協賛する団体等を募る） 商店街のメンバーを次年度からワークショップに呼び 	<ul style="list-style-type: none"> 地元が積極的に関わる 地域コミュニティ協議会の拠点とする 	<ul style="list-style-type: none"> まずイベントをしてみる（柳町清掃などできることから） 市のイベントをここから始める 運営主体となるものが必要（そのための団体の立上げ） 他の公園との差別化が必要 連携できる人や他団体と協力する 地域住民がボランティアとして関わる
② 広報・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> フェイスブックなどを活用した広報 	-	<ul style="list-style-type: none"> 公式HPは不可欠 情報を知ってもらうことが重要なのでパンフレットも必要 駅が近い立地を活かし、公共交通機関の利用やパーク＆ライドを勧める広報が必要 	-
③ その他	<ul style="list-style-type: none"> ネーミングライツ（命名権）の活用 	<ul style="list-style-type: none"> オープニングセレモニー（イベント）を検討 日常と非日常時のルールを精査する 利用者への案内窓口設置や窓口の一元化 イベント時の公共交通機関との連携（例えば市営バスの始発終点を市役所前から鹿児島駅まで延ばすなど） 	-	<ul style="list-style-type: none"> 核となる団体（商店街等）があれば補助金や助成金を得て活動する方法もある 駅の整備の方向性や世界遺産登録など周辺の状況によりイベント広場の使い方も変わってくる

キャッチフレーズ、めざす姿のキーワード

		<p>「上町」「維新」「起点」 「鹿児島の情報・文化の発信基地」 「自分たちのアイデア・知恵が活かせる公園」</p>	<p>～上町～ゆるり広場 “～”に上町という場所から始まるという意味と”ゆるり”にゆっくりにつづげる、ルールをゆるくした自由度の高い公園という意味を込めた</p>	<p>イベント好き集まれ！！ できないことより、できることが多い広場</p>
--	--	--	---	--